

## 令和5(2023)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

### 団体名

鬼越の森再生プロジェクト

### 活動のテーマ

歴史的古道「鬼越古道」の復活

### 9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ・ 鬼越古道の現存部分についての現況調査（令和5年4～5月）
- ・ 古道の消失部分に関する情報収集（令和5年4～6月）
- ・ 古道の消失部分における復元ルート・整備方法の検討（令和5年4～8月）
- ・ 歴史研究会および町内会との協力関係の構築（令和5年4～8月）
- ・ 岩波地区内での古道の整備（倒木の撤去や階段作りなど／令和5年4～8月）
- ・ （古道の整備・通行許可を得るために）古道ルートが重なる土地の地権者調べおよび挨拶（令和5年5～8月）
- ・ 活動協力者との会合（令和5年7～8月）
- ・ 古道が結ぶ地区（岩波・小立・平清水）の住民に対する活動についての報告（回覧板による配布／令和5年8月下旬）
- ・ 地域住民向けの現地説明会（令和5年9月9日）

### 今後の活動予定と令和6年3月末時点の達成予定事項

令和5年9月までは、古道の現況調査と消失部分に関する情報収集を土台として、古道ルートや復元方法を検討・決定し、決定事項を地域住民に周知することで活動に対する理解を得ることをおもな目標としてきた。地域住民の理解や地権者の了承がすでに得られている岩波地区についてはすでに一部整備を開始している部分もあるものの、ここからは古道全体の整備に入る。とくに平清水地区において古道が消失してしまっている部分については、ある程度の規模の作業となることが予想される。整備作業に投入する労働力・資材については最小限に抑えつつも、より効果の高い方法を検討・選択したい。また、令和6年4月の開通予定に合わせて、教育用リーフレットを作成する。これには古道ルートや関連施設、史跡を示す地図はもちろんのこと、古道を軸とした地域の歴史文化の物語や、古道周辺の文化資源や自然資源についての調査結果なども盛り込むつもりである。同じ内容はプロジェクトウェブサイトにおいても一般公開する。なお、活動において収集した地図や文字記録、映像なども一次資料としてデジタル化したうえで保存・保管し、必要に応じてウェブサイトにて一般公開する。

## 【中間報告】

# 歴史的古道「鬼越古道」の復活

## 9月までに達成できたこと

- ・鬼越古道の現存部分についての現況調査（令和5年4-5月）
- ・古道の消失部分に関する情報収集（令和5年4-6月）
- ・古道の消失部分における復元ルート・整備方法の検討（令和5年4-8月）
- ・歴史研究会および町内会との協力関係の構築（令和5年4-8月）
- ・岩波地区内での古道の整備（倒木の撤去や階段作りなど／令和5年4-8月）
- ・（古道の整備・通行許可を得るために）古道ルートが重なる土地の地権者調べおよび挨拶（令和5年5-8月）
- ・活動協力者との会合（令和5年7-8月）
- ・古道が結ぶ地区（岩波・小立・平清水）の住民に対する活動についての報告（回覧板による配布／令和5年8月下旬）
- ・地域住民向けの現地説明会（令和5年9月9日）



6月の活動時には古道の現存部分をプロジェクトメンバー全員で歩いてみました。実際に現地を訪れてみると、様々な課題が浮き彫りになるとともに、多くの気づきがあります。



8月下旬には岩波町内会の役員会にて私たちの活動についての報告を行いました。



一部はとても綺麗に道が残っています。



古道沿いに白いカタクリを見つけました。十万一ひとつと云われる白いカタクリは幸福をもたらすと云い伝えられています。

## 活動団体【鬼越の森再生プロジェクト】

100年後の未来を見据え、山形市岩波地区（大字岩波字鬼越）の住環境を取り巻く放置林を整備し直すことによって、自ら再生し続ける自然の雑木林をつくっています。これにより、人とそれ以外の種が調和した、持続可能で豊かな里山暮らしの実現を目指しています。



森林整備を行う過程で、間伐材を運び出すために一部整備・使用した道が、由緒ある古道であり、ここを定期的に訪れる人々の存在も明らかになりました。ところが、一部はすでに道としての機能を失っており、現存部分を歩く地域住民もほとんどいません。近隣住民からの要望もあり、これを復活させ、教育・観光資源として活用するという、新たな活動目標がうまれました。

## 今後の活動予定と令和6年3月末時点の達成予定

令和5年9月までは、古道の現況調査と消失部分に関する情報収集を土台として、古道ルートや復元方法を検討・決定し、決定事項を地域住民に周知することで活動に対する理解を得ることをおこなう目標としてきました。地域住民の理解や地権者の了承がすでに得られている岩波地区についてはすでに一部整備を開始している部分もあるものの、ここからは古道全体の整備に入ります。とくに平清水地区において古道が消失してしまっている部分については、ある程度の規模の作業となることが予想されます。整備作業に投入する労働力・資材については最小限に抑えつつも、より効果の高い方法を検討・選択したいと考えております。また、令和6年4月の開通予定に合わせて、教育用リーフレットを作成します。これには古道ルートや関連施設、史跡を示す地図はもちろんのこと、古道を軸とした地域の歴史文化の物語や、古道周辺の文化資源や自然資源についての調査結果なども盛り込むつもりです。同じ内容はプロジェクトウェブサイトにおいても一般公開します。なお、活動において収集した地図や文字記録、映像なども一次資料としてデジタル化したうえで保存・保管し、必要に応じてウェブサイトにて一般公開したいと思います。